

ようこそ、「記念日めぐりへ」

本ソフトウェアをダウンロードして、いただき、ありがとうございます。

1年365日、歴史上の長い年月の間には、いろんな事があったと思います。

過去の出来事や故人の命日や誕生日など記念となる日は意外とたくさんあるものです。

記念日めぐりは、このような日々の記念日や出来事などを日めぐりのように毎日自動で切替て、表示させるソフトです。

本ソフトで使用している「aniv.txt」ファイルでは仏教関連や音楽関連の記念日を多く取り入れていますが、ご自身で記念日めぐりデータファイルを作り変えて表示させることも出来ますので、気に入った記念日やメモ情報などを追加したり、変更したりしてオリジナルの記念日めぐりを作ってみてください。

ちょっと使いにくい所もあるかもしれませんが、試してみてください。

(予定表として使えるかは疑問ですが、予定表としての保証は出来かねます)

又、本ソフトでは、江戸時代に用いられていたであろう十二支による時刻表示を不定時法を用いて、エンドンソフト・オリジナルの方法で表示しています。

尚、本ソフトは、2036年頃までしか使えませんので、よろしく、ご了承願います。

本ソフトは、フリーウェアですが、著作権は、「エンドン・ソフト」にあります。

概要と特長

1. ソフトウェア名

記念日めくり、 aniversary.exe ver.1.0.1.1

オリジナルの記念日やメモ情報を表示させ、現在の時刻として十二支による時刻表示を行なうソフトです。(特殊な DLL 等は使用していません)

2. 動作環境

C P U : Pentium 100MHz 以上

主メモリ : 5 Mバイト

外部メモリ : 2 Mバイト以上

O S : Windows 95 以上。(windows NT, 2000, Me での動作確認はしていません)

3. ファイル構成

aniversary.exe	プログラム本体
aniv.txt	記念日データファイル
aniv0.txt	記念日データファイル・イニシャルデータ
locate.bin	観測地用データファイル(立上げ時に自動作成)
aniversary.cnt	ヘルプの目次
aniversary.hlp	ヘルプファイル
readme.txt	ヘルプテキスト

- ・ 記念日データファイル (aniv.txt) を自動で読み込んで、記念日等の記事やメモ情報などを表示させます。
- ・ 「 aniv.txt 」 ファイルを修正して、ご自身のオリジナルデータファイルを作成できます。
- ・ 江戸時代に使われていたと考えられる十二支による時刻表示をします。
- ・ 24 節気の表示がされます。
- ・ 太陽の高さと方位角が表示されます。
- ・ 太陽の位置に相当する春分点を起点とした十二星座名を表示します。
- ・ 年、月、日の干支 (えと) を表示します。
- ・ ご自身のお住まいの場所を設定することによって少し正確な十二支時刻を表示させます。
- ・ 当日より、前後 30 日づつ、日付移動が可能です。

注) 24 節気の太陽の位置や日の出、日没時刻は正確なものではありませんので、多少の誤差が生じます。

注) 本ソフトは、2036 年頃までしか使用できません。

注) aniv.txt ファイルサイズは、最大で 512 K バイトまでです。

注) 観測地は、日本国内を想定しています。

注) 本ソフトを使用することによって発生した、いかなるトラブルや損害に対して作者は一切責任を負いかねます。

インストールとアンインストール

1. インストール

本ソフトのインストールは、ウインドウズインストーラパッケージとなっています。

- ・ダウンロードした「aniversary.msi」をダブルクリックして実行を開始します。
- ・「セットアップウィザードへようこそ」が表示されますので、右下の「次へ」をクリックしてください。
- ・「インストールフォルダの選択」画面になります。初期設定は、プログラムファイル下の EndonSoft¥aniversary となっています。フォルダを変更したい場合は、「参照」ボタンで目的のフォルダまで移動してください。OKであれば、「次へ」をクリックします。
- ・「インストールの確認」画面が表示されますので、「次へ」をクリックして、インストールを開始してください。
- ・しばらくすると、「インストールが完了しました」という画面が現れますので、「閉じる」ボタンをクリックして、完了となります。

以上の操作によって、デスクトップとスタートメニューのプログラムサブメニューに「記念日めぐり」というショートカットが作成されます。

2. アンインストール

アンインストールは、プログラムの追加と削除で行ないます。

- ・コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を実行して、「aniversary」を選んで「削除」ボタンをクリックします。「削除しますか」と聞いてくるので、「はい」をクリックします。

以上の操作により、デスクトップとスタートメニューのサブメニューからショートカットが削除され、プログラムファイルフォルダ内の EndonSoft¥aniversary フォルダが完全に削除されます。

準備

本ソフトは、パソコンのシステムに内蔵されているカレンダー時計を利用していますので、日時設定を行なってください。タイムゾーンは、必ず日本時間を使ってください。通常はシステムセットアップ時に設定されていると思います。

時間の設定

- ・パソコン画面の下部にあるタスクバー、その右方向にある時刻表示[00:00]を右クリックして、「日付と時刻の調整」を選んで、設定してください。
詳しくは、ウインドウズのヘルプを参照願います。
- ・コントロールパネルからの設定も可能です。タスクバーの「スタート」より、設定（コントロールパネル） 「日付と時刻」を選択して設定してください。詳しくは、ウインドウズのヘルプを参照願います。

本ソフトは 2036 年ごろまでしか使用できません。

お住まいの位置を設定して下さい。

- ・あらかじめ、お住まいの位置の東経と北緯の情報を明らかにして下さい。
お住まいの東経と北緯が分かったら本ソフト上で設定します。
詳しくは、「観測地の設定」をご参照願います。

日本は東西にも長いので、この位置が正しくないと十二支時計が違ってきます。

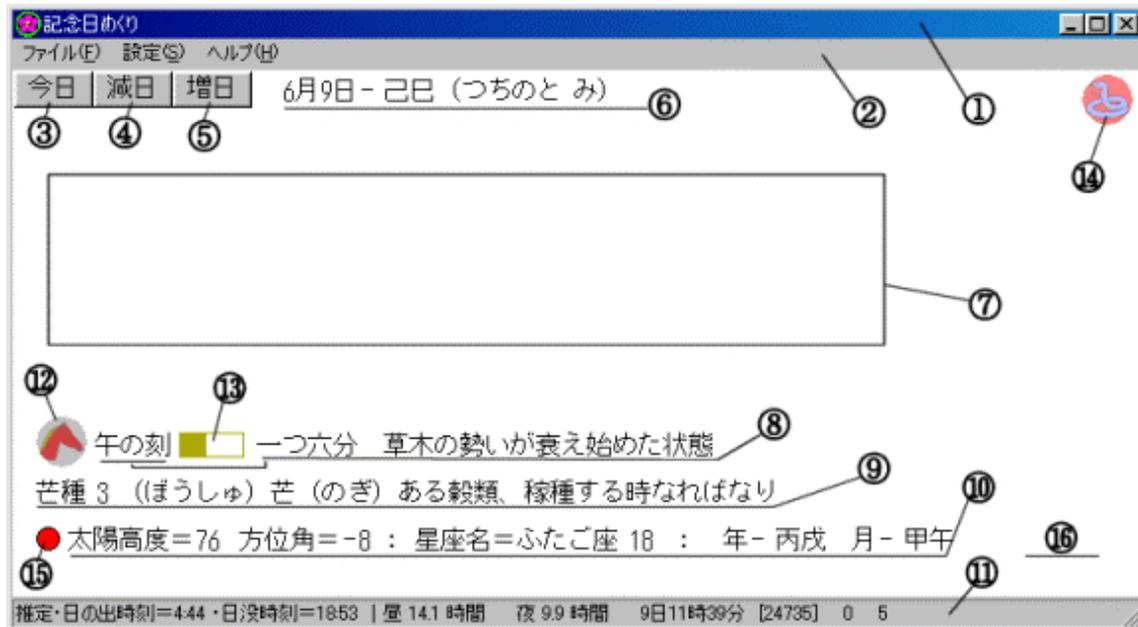
日本国内で、パソコンの時計が同じでも北海道と沖縄では、約 20 分程の差が生じます。

又、日の出、日没時刻ですと、1 時間以上の差が生じます。

Copyright (C) 2006 EndonSoft All Right reserved.

各部の名称と働き

プログラムを起動すると下のようなウィンドウが開きます。



タイトルバー

本ソフトの名称「記念日めくり」が表示されます。

メニューバー

観測地、位置やヘルプを見るときに使います。

- ・ファイル - 終了：本ソフトの終了時に使用します。
- ・設定 - 観測地：十二支時計の為に用いる基準位置の設定項目です。
初期位置は、東京・東経 139 度 48 分、北緯 35 度 42 分に設定されています。
皆さんの、お住まいの位置を設定してください。
- ・ヘルプ - 目次：本ソフトのヘルプの目次が表示されます。
バージョン情報：本ソフトの改訂番号が表示されます。

今日ボタン

このボタンを押すと、aniv.txt ファイルを自動で読み込んで今日の日付と時刻を読み込んで、十二支時計や 24 節気を表示させます。

減日ボタン

当日より最大 30 日前まで、日付を戻すことができます。

増日ボタン

当日より最大 30 日後まで、日付を進めることができます。

日付とその干支表示

今日、減日、増日ボタンで設定された日付の月日と、その日に相当する干支を表示します。() 内は、干支(えと)の読み方です。

記念日及びメモ情報表示

記念日データファイル「aniv.txt」ファイルに記載されているメモ情報を順番に表示していきます。最大で5項目、1項目の最大文字数は全角50文字程度までです。

十二支時計の時刻表示

その時の観測位置における十二支の時刻を表示します。

詳細は「各表示の説明」を参照願います。

24 節気表示

その日時の観測地における24節気の名称を表示させます。

詳細は「各表示の説明」を参照願います。

太陽に関する情報と年月干支の表示

その日時の観測地における太陽高度とその方位角、及び12星座の星座名とその位置、その年と月の干支を表示します。詳細は「各表示の説明」を参照願います。

ステータスバー表示

その日時の観測位置における推定(2度程の誤差)の日の出、日没時刻を表示します。

又、昼の時間と夜の時間等の表示を行ないます。

詳細は「各表示の説明」を参照願います。

十二支時計画像表示

十二支時計の時刻に相当する動物名(十二支獣)の画像を表示します。十二支には、本来、動物の意味はありませんが、分かりやすくするため設けられたようです。

1刻内変化グラフ

1刻(各十二支)内の変化の様子をグラフで現しています。

日付十二支・画像表示

その日に相当する十二支の動物画像を表示します。

「減日」「増日」ボタンで切り替えると、この画像が切り替わります。

太陽の明るさ表示

その時の太陽の高度によって、色が4段階で変化します。

土用表示

暦上の土用に相当する日に「土用」の文字が現れます。

ソフトの起動

インストールが完了すると、「スタート」メニューとデスクトップにショートカットが作成されます。

1. デスクトップには、ショートカットが作成されていますので、記念日めぐり、のアイコンをダブルクリックすると記念日めぐり、が起動します。
2. 「スタート」メニューをクリックして、「プログラム」を選び、記念日めぐりの所まで、マウスを移動してクリックしますと記念日めぐりが起動します。

注) 初めて立ち上げた時には、観測地用のデータファイルが自動的に作成されます。

注) ソフトが起動すると自動的に次の2つのファイルを読み込みます。

- ・ aniv.txt : 記念日データファイル
- ・ locate.bin : 観測地の位置情報ファイル

注) 上記の2つのファイルが、プログラム本体と同じディレクトリ内に無いとエラーメッセージが表示されますので、2つのファイルは移動しないで下さい。

各ボタン動作の説明

記念日めくりは、1分毎に自動で時刻表示の為の計算を行ない同時に表示更新を行ないます。

・今日ボタン

このボタンを押しますと、aniv.txt ファイルを再度読み込んで、表示と計算処理を行ないます。今日のメモ情報にリセットする場合にお使いください。

・減日ボタン

このボタンを押しますと、現在表示されている日付けより1日前に移り、表示切替をします。最大のマイナス日は30日で、最下段のステータスバー上にその日数が表示されます。24節気も戻りますので、十二支時計の時刻が戻した日の時刻相当に変わります。最大の30日を超えますと、当日の日付に戻ります。

設定した記念日やメモ情報が正しく表示されるかを、確認するのに便利です。

・増日ボタン

このボタンを押しますと、現在表示されている日付けより1日後に移り、表示切替をします。最大のプラス日は30日で、最下段のステータスバー上にその日数が表示されます。24節気も進みますので、十二支時計の時刻が進んだ日の時刻相当に変わります。最大の30日を超えますと、当日の日付に戻ります。

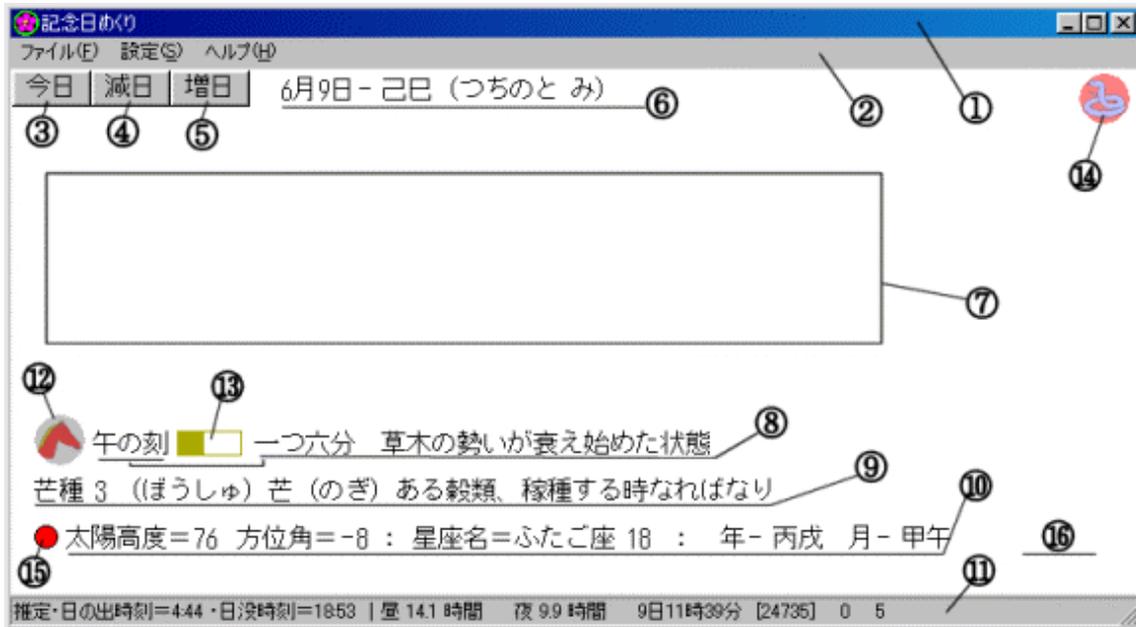
設定した記念日やメモ情報が正しく表示されるかを、確認するのに便利です。

注) 減日ボタン、増日ボタンで、日付移動した場合、2分以上、ボタン操作をしないと当日の日付に自動修正されます。

注) 24節気は、減日、増日ボタン利用時には、該当日の時刻により節気名が異なっている場合があります。

各表示の説明

記念日めくりは、1分毎に十二支時計の時刻表示をするため、再計算をさせています。



「今日」「減日」「増日」ボタンにより、下記の表示が切り替わります。

日付とその干支名表示

月と日付の表示を行ないます。

その日に相当する干支の名前を表示します。()内は干支の読み方です。

記念日及びメモ情報表示

「aniv.txt」ファイルで設定されている日付記号と表示位置記号に従った表示をします。表示項目は、最大で5項目、1項目の最大文字数は全角50文字までです。aniv.txt の設定方法については、「データファイルの設定方法」を参照願います。

十二支時計の時刻表示

現在の時刻を十二支名で表示します。又、十二支の意味する言葉も表示します。

・「一つ」について(約30分)

一つは、十二支の1刻(約2時間)を4等分した場合の時間位置を数で表示します。

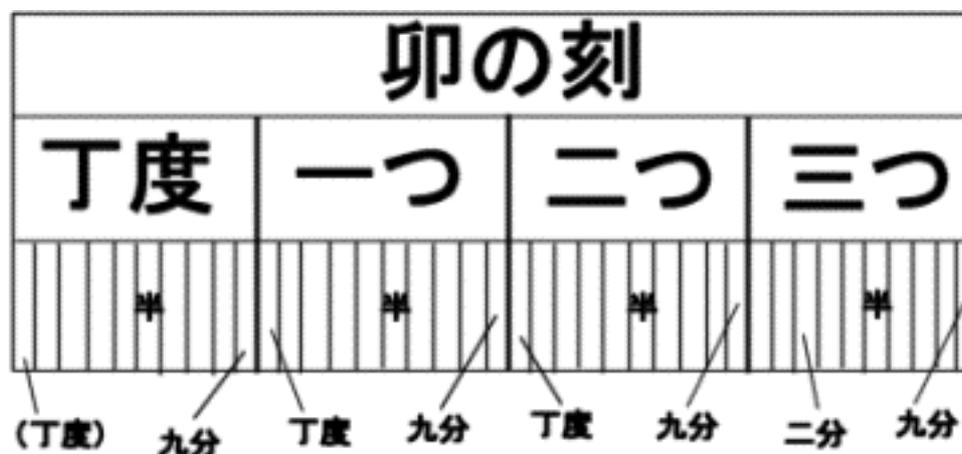
1刻の中心時間は、「二つ丁度」です。四つ以上になると次の時刻に移ります。

・「一分」について(約3分)

一分は、1刻の4等分した時間を更に10等分した値を示します。

私は「分」を「ぶ」と呼んでいます。表示は、丁度~九分までで、九分が桁上げされると次の「一つ」が増えることになります。

例えば、卯の刻を図で表示しますと下のようになります。



日の出の時 = 卯の刻：二つ丁度、又、日没の時 = 酉の刻：二つ丁度 となります。

午の刻：二つ丁度が、太陽の位置が南中した一番高く輝いている時です。

24 節気表示

その日時における 24 節気名が表示されます。次の気候名（節気名）までの位置を度数で表し、0 ~ 14 までで表示します。又、24 節気の意味する内容を表示します。

太陽に関する情報と年月の干支表示

太陽の高度（高さ）が表示されます。太陽の方位角が表示されます。

星座名は、太陽が存在している位置を示し、春分点を起点とした区分法による「占星学上のトロピカル様式」による星座名とその度数です。

1 星座は 30 度ずつの等分割です。

その年と月の干支がそれぞれ表示されます。

太陽に関する内容は、「太陽について」の項を参照願います。

ステータスバー

その日に関する下記の情報が表示されます。

太陽に関する数値は 2 度程の誤差があるようです。

- ・推定の「日の出時刻」が表示されます。（計算ごとに多少の差が生じます）
- ・推定の「日没時刻」が表示されます。（計算ごとに多少の誤差が生じます）
- ・太陽が現れている時間を「昼の時間」として表示します。
- ・太陽が地球の裏側に隠れている時間を「夜の時間」として表示します。
- ・パソコンのシステムによる日付と時間を表示します。
- ・記念日データファイル aniv.txt のファイルサイズを [] 内に表示します。
- ・減日、増日ボタンで移動した日数が表示されます。
- ・60 干支の番号が、0 ~ 59 で表示されます。

十二支時計画像表示

その時刻に相当する十二支の動物名の画像が表示されます。

1 刻内変化グラフ

1 刻内の変化をグラフ表示しています。周りの細かい線の内側が全て埋め尽くされるとその時刻が終り、次の時刻に移ります。

日付十二支・画像表示

その日付に相当する十二支の動物名の画像が表示されます。

減日、増日ボタンにより、日単位での画像切替ができます。

太陽の明るさ表示

太陽の高さにより、下記の 4 段階に表示が切り替わります。

- ・黄色 - 日の出直後と、日没直前の太陽の強さ。
- ・オレンジ - 昼間の太陽が比較的強くなった時。
- ・赤 - 最も太陽が勢いがあるとき。
- ・白 - 夜の太陽が沈んだ後。

土用表示

暦上の土用に相当する時に「土用」の文字が表示されます。

古い暦の本によると、その期間は、「土を犯し殺生を忌む」日とされていたようです。

迷信のようですが、この期間は土を動かすことや、殺生が嫌われていたようです。

記念日めぐりデータファイル設定方法

記念日データファイルは、テキストファイルとなっております。

記念日めぐりに表示させる項目（内容）をメモ帳（notepad）等のテキストファイルを編集できるソフトを用いて、表示項目（日付メモ情報）の変更を行う事ができます。

インストール直後に anniversary フォルダ内にある「aniv.txt」というファイルが、既に設定済みの記念日めぐりデータファイルです。このファイルを変更するか、何も記事（メモ）情報が記述されていない、まっさらな「aniv0.txt」を最初から作るかは、お好きな方法で試してみてください。

概要

記念日データファイルとして下記の規則を決めてあります。記念日めぐりに表示させる日付単位の個々のデータを「日付メモ情報」と呼びます。

- ・記念日データとしてのヘッダー部「記念日めぐり・データファイル」が必要です。
- ・各月を知るための位置情報として月の英語名を利用しています。
- ・日付メモ情報は、日付記号、表示位置記号、メモ情報、終了記号 の構成となっています。

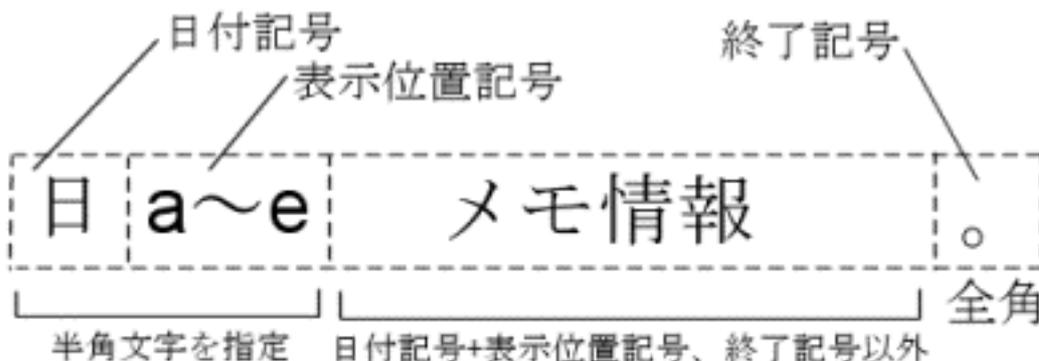
編集方法（約束事）

基本的に、各月の日付メモ情報だけを修正変更すればOKです。

1. 「記念日めぐり・データファイル」という文字列は必ず、先頭部分に記入しておいてください。（既に記述済み）
2. 月の位置を示す英語名は、上から順に january, february,, december と記述して、各月の英語名の下に該当月の日付メモ情報を記述してください。
3. 日付メモ情報は、必ず、日付記号、表示位置記号、メモ情報、終了記号 の4つの情報を入れてください。[日付記号+表示位置記号] や [終了記号] の単独記述はしないで下さい。
4. 日付記号は、必ず2桁とし、1～9日までは、最初に「0」を付加してください。

日付メモ情報の説明

記念日めぐりに表示させる日付単位の個々のデータを「日付メモ情報」と呼び、下の図のような形式で記述しなければなりません。



実際の記入例

記念日めぐりに「七夕さま」を表示させたい場合

07a 七夕さま。 となります。

上の場合、日付記号 = 07 表示位置記号 = a メモ情報 = 七夕さま 終了記号 = 。 です。

- ・表示位置記号「a~e」は、該当日の中で「a」を一番上にして、順に b, c, d, e, と並べます。表示される時は、a が一番上となり b, c, d, e, と順に表示されます。この表示位置記号を記述しないと表示されません。
- ・メモ情報は、半角 100 文字、全角 50 文字以内でお願いします。

注) [日付記号+表示位置記号] のみの記述はしないで下さい。

注) メモ情報中に、終了記号「。」は入れないで下さい。

注) 希望のメモ情報を隠したい場合は、希望となる日付メモ情報の表示位置記号だけを取除いてください。そのメモ情報のみが隠れます。

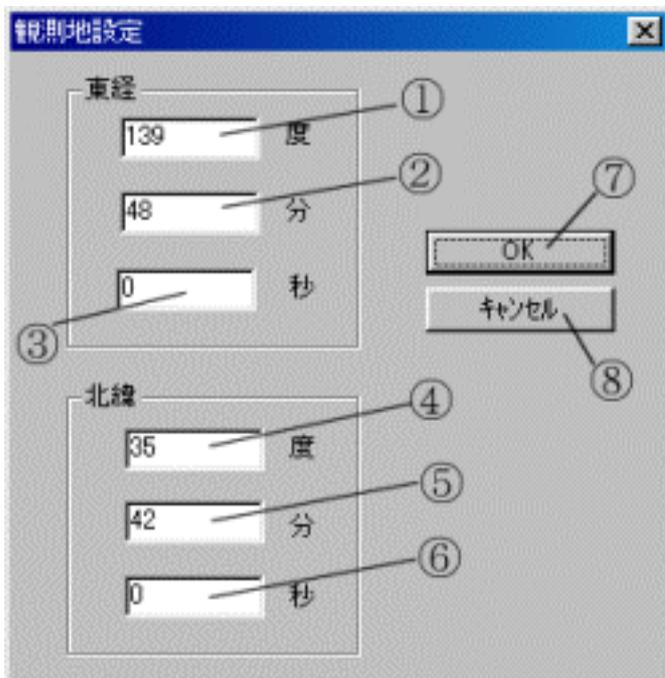
注) 「aniv.txt」と「aniv0.txt」を入れ替える場合は、「aniv.txt」を別の名前に変更するか別のフォルダにへ移動しておいてから、「aniv0.txt」を「aniv.txt」に名前変更してください。

注) 「aniv.txt」ファイルは、最大で、512K バイトまで、可能です。

観測地の設定方法

記念日めくりの十二支時計を少し正確に表示させる為に、この設定を行ないます。
プログラム本体での初期設定は、東京・東経 139 度 48 分、北緯 35 度 42 分に設定してありますので、ご自身のお住まいに合わせて設定を試してみてください。もし同じ十二支時刻を共有したいのであれば、観測地設定を共通にしておくことで可能となります。

設定は、メニューバーにある「設定(s)」をクリックして「観測地」を選びますと、下のような設定画面が表示されます。



ご自身のお住まいの位置を分程度まで調べて、秒の数値は「0」にして入力してください。上の図の の白いスペース内に該当する数値を書き込みます。マウスなどでポインタを白いスペース内に移動させて、**[BS]** キーなどを使って、数値を入力し直します。

～ 東経の位置情報入力部：東経 度、分、秒 まで入力できます。

～ 北緯の位置情報入力部：北緯 度、分、秒 まで入力できます。

OKボタン

このボタンを押すと、 ～ で入力した値の設定が完了します。

キャンセルボタン

このボタンを押すと、設定は、以前のままで、変更されずに設定画面を終了します。

OKボタンを押すと、「locate.bin」というファイルにデータを書き換えて自動保存されます、次回、立上げ時には、このデータを自動読み込みしますので、それ以降の設定は不要です。

注) 日本以外での観測地設定には、対応しておりません。

注) 秒単位まで入力しても、そこまでの正確性は無いと思いますが、秒単位まで入力をご希望の方は、入力してみてください。

Copyright (C) 2006 EndonSoft All Right reserved.

十二支時計について

日本における時計の始まりは日本書紀に記述が残っているようで水時計が最初ようです。室町時代より江戸時代頃まで続いていたのが、太陽の動きによる不定時法を利用した十二支による時刻表示があったようです。又、別の時刻の呼び方もあったようです。日の出（卯の刻）と日没（酉の刻）を基準にして昼と夜の時刻割を十二個に分けて呼んでいたようです。この時刻ですと春と秋は比較的、似ている時刻帯ですが夏と冬では、昼と夜の時間が異なるので今の定時法と比べると1時間以上の違いがあったようです。（日本では行なわれていませんが欧米ではサマータイムが採用されていますので太陽の動きに合わせた時刻のほうが昼夜の実体に合っているかもしれません）下に現代時刻（定時法）との違いを載せておきます。

十二支時刻と現代時刻の対照表（春分、秋分の日頃・十二支刻の中心）

太陽の位置	十二支時刻名	現代の時刻
日の出	卯の刻：二つ丁度	6：00
（昼・午前）	辰の刻：二つ丁度	8：00
＂	巳の刻：二つ丁度	10：00
南中（正午）	午の刻：二つ丁度	12：00
（昼・午後）	未の刻：二つ丁度	14：00
＂	申の刻：二つ丁度	16：00
日 没	酉の刻：二つ丁度	18：00
（夜）	戌の刻：二つ丁度	20：00
＂	亥の刻：二つ丁度	22：00
真夜中（午前0時）	子の刻：二つ丁度	0：00
（夜）	丑の刻：二つ丁度	2：00
（夜・明け方）	寅の刻：二つ丁度	4：00

現代でも「うしみつどき」という言葉が残っていますが、これは丑の刻の三つ目の時刻とも考えられているようで、午前2：30～3：00頃までの間と考えられるようです。又、昔は、朝を卯の刻、夕方を酉の刻と言っていたようです。現代の12時は「正午」と言いますが、これも十二支時刻の名残と考えられます。上の表の場合、1刻の長さが約2時間で、更にそれを4分割した方法があったようで、記念日めぐりでは、この方法を用いて、1刻内を4分割表示しています。

十二支について

十二支の起源は、中国の殷の時代までさかのぼる、かなり古いものようです。始め、十二支は十二ヶ月を示す記号であったようで、草木の育成する過程を表す言葉で示されたようです。（記念日めぐりでは、この言葉を表示します）又、十二支は木星が天球上を12年で1周することから、木星の動きと逆向きの仮の星「太歳」を設け、この星のいる場所を十二支と呼ぶようになったとも考え

られているようです。日本では、十二支は年賀状などに用いられ動物の名前としてよく知られていますが、本来は、動物の意味は無く、広く多くの人に知ってもらう為に動物と結び付けたようです。

十二支 - 子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥 の12個

干支（えと）について

干支（えと）は十干と十二支が組み合わせさった60個の呼び名のことで、動物名でよく知られる十二支を示す意味と多少異なるようです。

十干 - 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸 の10個

十二支 - 子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥 の12個

十干は、1ヶ月を上旬、中旬、下旬と分けた時に各旬がそれぞれ10日あるので、その一つを数えるための記号に用いられていたようです。

この2つの組み合わせにより、甲子（きのえ ね）、乙丑（きのと うし）、...と組み合わせた最小公倍数となる、60個の干支が決められています。

24 節気について

1年間の四季の変化を表す言葉として、よく天気予報などで耳にします。

この24節気の起源は、月の動きによる暦と太陽の動きによる季節の変化では、毎年ずれが生じていたようで、農作業などの効率化を良くする為に四季の変化に合わせた気候区分の方法が考え出されたようです。

現在では、天文学的に地球が太陽の周りを1年で一周する360度を24に等しく分割した方法で24節気を決めているようです。

季節名における24節気の区分け表

季節名	24 節気名	およその期間
春	立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨	2月4日～5月5日
夏	立夏、小満、芒種、夏至、小暑、大暑	5月6日～8月7日
秋	立秋、処暑、白露、秋分、寒露、霜降	8月8日～11月7日
冬	立冬、小雪、大雪、冬至、小寒、大寒	11月8日～2月3日

各気候名（24節気名）の意味については、その都度表示される記念日めぐりの表示を参考にして下さい。

太陽について

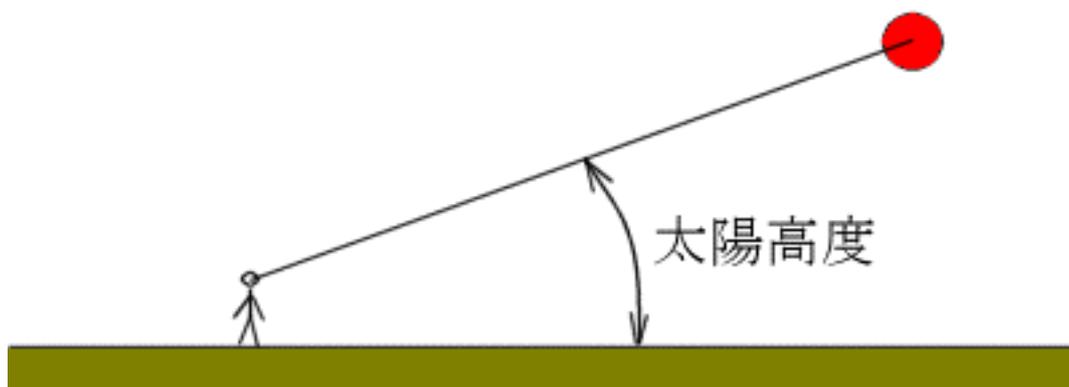
説明する必要もない内容ですが、えらそうに書いてみます。

地球は、1年をかけて太陽の周りを回っているわけですが、地球上では、地球の自転軸の傾きによって、1年間で四季が生じています。地球における時間の基準は1日と思われませんが、この1日からなる365日を1年間として、四季の変化とのずれをなくした、こよみ(暦)が考え出され使われるようになりました。現在、私たちが普通に使っている暦は、西暦ですが、これは、16世紀頃にヨーロッパで使われ始めたグレゴリオ暦と呼ばれる太陽暦の1つのようなのです。

太陽に関する「太陽高度」と「太陽方位角」は下記の通りです。

太陽高度

太陽高度とは、観測地の地面を水平面とした場合の太陽のある方向を指す高さの角度です。



太陽方位角

東西南北と方位角度数との関係は下記の表の通りです。

度数	0	45	90	135	180	225	270	315	360	-45	-90	-135
方向	南	南西	西	北西	北	北東	東	南東	南	南東	東	北東

Copyright (C) 2006 EndonSoft All Right reserved.

著作権について

著作権表示：

Copyright (C) 2006 Endon.Soft All Rights Reserved.

このプログラムはフリーソフトウェアです。このプログラムの著作権は、著作権者である本人が所有しています。著作権の権利を侵害する行為は、堅くお断りします。

使用条件・転載条件・改変条件：

以下の条件をご了承の上ご利用ください。

使用条件：

- ・本ソフトウェアはフリーウェアですので個人において自由に使用してかまいませんが、この著作物に関する権利は、著作者本人に帰属するものとします。
- ・本ソフトを使用することによって発生した、いかなるトラブルや損害に対して作者は一切責任を負いかねます。また、ソフトの修正、バージョンアップ、バグ対応などにおいても作者は一切の義務を負わないものとします。
- ・プログラム及び付属資料の内容は、予告なく変更することがあります。

転載条件：

- ・「ソフト制作工房・Avaloky」と「自然考庵」にて、オリジナルの「記念日めぐり」を配布していますので、他サイトでの配布や他サイトへの転載は、ご遠慮願います。
- ・転載、配布に関して、営利目的でのご使用は、ご遠慮願います。
- ・転載・配布によって発生した損害等に関して、作者は一切の責任を免除されるものとします。

改変条件：

- ・本プログラムを逆アッセンブル等により、解析・解読は行なわないでください。
- ・本プログラムの改変、一部削除、一部切り出し等を行なわないでください。
- ・サンプル曲の改変、一部削除、一部切り出し等を行なわないでください。

使用に対する対価：

本ソフトウェアは、フリーウェアですので、どなたでも無料でご使用ください。ご意見、バグ報告などがあれば電子メールで、"amita@avaloky.com" までお願いします。

保証・免責：

本ソフトを使用することによって発生した、いかなるトラブルや損害に対して、作者は一切責任を負いかねます。各個人の責任においてご使用願います。また、ソフトの修正、バージョンアップ、バグ対応などにおいても作者は一切の義務を負わないものとします。また、転載・配布によって発生した損害等に関しても、作者は一切の責任を免除されるものとします。

連絡先：

ご意見、ご要望、バグレポートなどがあれば電子メールで、ご連絡願います。
今後の参考にさせていただきます。

Email： amita@avaloky.com

Home page = <http://www.avaloky.com>